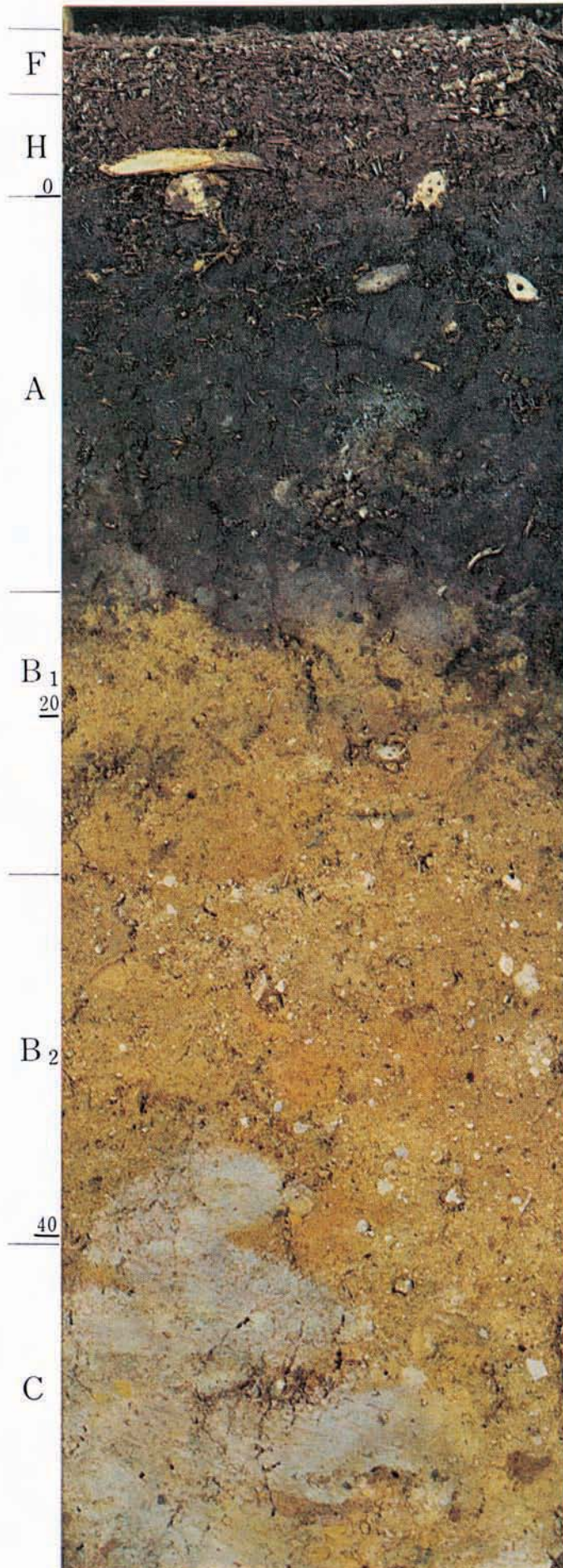


断面 3 P_{DII}

乾性ポドゾル化土壤



母材料： ハリ質火山泥流、残積

採取地： 青森市酸ヶ湯地獄沼 荒川山国有林
青森事業区 253 林班ろ小斑

海拔高： 910 m

地 形： 火山泥流緩斜面

方 位： E

傾 斜： 15°

林 相： ブナ天然林（ブナ・アオモリトドマツ・
チシマザサ）

断面記載：

F 2~3 cm ブナ、ササの破碎腐葉が
密に堆積。

H 4~5 cm 黒褐色 (5 YR ²/₂)，粒状
および柔らかい塊状構造，湿，細・中根
きわめて多く，網状を呈する。

A 16~18 cm 黒色 (7.5 YR ²/₁)，腐
植にすこぶる富む溶脱層。細礫まれ，植
質壤土，上半部に団粒状および塊状構
造弱度に発達するも他は壁状，灰褐色
(7.5 YR ⁴/₂) の溶脱斑を含む，軟，湿，
細・中根多し，次層との境界は明なるも
不規則。

B₁ 7~11 cm 明赤褐色 (5 YR ⁵/₆)，腐
植に乏し，細礫あり，植質壤土，壁状，
堅，湿，細根あり，次層との境界は判。

B₂ 10~20 cm 橙色 (7.5 YR ⁶/₆)，腐
植に乏し，細・小礫に富む，植質壤土，
壁状，堅，湿，細根まれ，次層との境界
は明。

C 15 cm+ にぶい黄橙色 (10 YR ⁷/₄)，
腐植に乏し，細礫あり，植質壤土，壁状，
軟，湿。

採取年月日： 1964年10月15日

P_{DII} 型土壌は普通 P_{DI} 型土壌にともなって分布するほか、P_{DIII} 型土壌にもともなって、局部的に乾きの影響の強いような場所で認められる。

この断面のB層は、断面4のように顕著な鉄銹色を呈しておらず、わずかに赤橙色の斑状集積が認められるにすぎない。特に割れ目、腐根あとに沿ってそれが認められる。これらの特徴は土層が埴質緻密なためであろう。地形的にも排水が悪く、季節的にやや還元状態におかれるものと思われる。おそらくこの断面は P_{W(II)} 型土壌との中間に位置付けされるものであろう。

強酸性で養分に乏しい。土層の深い場合はヒノキ、カラマツなどの植栽は可能であるが、あまり収穫は期待できない。P_{DI} 型土壌と同様に扱うのがよい。



採取地の林相

層 位	C %	N %	C/N	pH (1:2.5)	置換酸度 Y ₁	CEC m.e	置 換 性		Ca/CEC	Mg/CEC
							Ca	Mg		
A	14.9	0.86	17	4.5	17.0	37.15	1.60	1.48	4.31	3.98
A (溶脱斑)	7.7	0.37	21	4.7	7.2	37.70	0.36	0.01	0.96	0.03
B ₁	1.1	0.07	16	4.7	1.1	18.27	0.22	0.01	1.20	0.05

層 位	土壌中の細粒 (0.2~0.1 mm) の鉱物 100 分比								土 壌 中 の 粘 土 鉱 物			
	石 英	長 石	角閃石	火 山 ガラス	火山砂	玻璃質 軽石粒	輝 石	磁鉄鉱	アロフェン	ギブサイト	加水ハロイサイト ・ハロイサイト	15~14 Å 鉱 物
A	10.5	6.5	2.4	4.19	3.2	18.6	7.3	2.4	+			×
A (溶脱斑)	5.5	9.0	1.4	26.0	4.4	19.3	33.0	1.4	+++	×		×
B ₁	5.4	6.9	3.9	17.7	7.7	48.4	8.5	1.5	++++	+	+	

層 位	粗 砂	細 砂	微 砂	粘 土	土 性
A	11.9	29.9	40.3	17.9	CL
A (溶脱斑)	60.9	14.5	13.0	11.6	SC
B ₁	25.8	20.2	31.5	22.5	CL